

仁木町簡易水道事業經營戰略

令和8年3月改定版

仁木町建設課

仁木町簡易水道事業経営戦略

団 体 名 : 仁木町

事 業 名 : 仁木町簡易水道事業

策 定 日 : 平成 29 年 3 月 (平成30年3月改定) (令和8年3月改定)

計 画 期 間 : 令和 8 年度 ~ 令和 17 年度

1. 事業概要

(1) 事業の現況

① 給水

供用開始年月日	昭和42年12月1日	計画給水人口	4,091 人
法適(全部・財務) ・非適の区分	法適用(財務)	現在給水人口	2,758 人
		有収水量密度	0.082 千m ³ /ha

② 施設

水 源	<input checked="" type="checkbox"/> 表流水, <input type="checkbox"/> ダム, <input type="checkbox"/> 伏流水, <input checked="" type="checkbox"/> 地下水, <input type="checkbox"/> 受水, <input type="checkbox"/> その他 (複数選択可)			
施 設 数	浄水場設置数	3	管 路 延 長	約115 千m
	配水池設置数	5		
施 設 能 力	1,643 m ³ /日	施 設 利 用 率	56.8 %	

③ 料金

料 金 体 系 の 概 要 ・ 考 え 方	水道料金は、その使用目的に応じて家事用、業務用、浴場用、臨時用の4種類に区分し、それぞれに定める基本水量と基本料金、超過料金を徴収しています。 家事用 8m ³ まで 2,080円 超過料金190円/m ³ 業務用 20m ³ まで 4,600円 超過料金 50m ³ まで190円/m ³ 、51m ³ 以降は180円/m ³ 浴場用40m ³ まで8,400円 超過料金210円/m ³ 臨時用 1m ³ につき260円
料金改定年月日 (消費税のみの改定は含まない)	平成24年4月1日

<料金表>

種別及び用途	基本料金 (円/月)		超過料金 (円/月)	
	水量	料金	水量	料金
家事用	専用給水装置	8m ³ まで 2,080	1m ³ あたり	190
	共同給水装置	8m ³ まで 2,080		190
業務用	20m ³ まで	4,600	50m ³ まで	190
			51m ³ 以降	180
浴場用	40m ³ まで	8,400	1m ³ あたり	160
臨時用	—	—		260

④ 組織

簡易水道事業は建設課建築水道係が担っています。職員数は損益勘定所属職員が3名(事務系2名、工事系1名)です。なお、年齢構成は令和7年度現在で50代1名、40代1名、20代1名となっています。

<職員数・職種・年齢構成等>

年代	人数	摘要
50代	1	
40代	1	
30代	0	
20代	1	
計	3	

(2) これまでの主な経営健全化の取組

平成9年度より、民間活力(施設維持管理、検針業務、公営企業会計支援業務)の導入を開始し、平成13年度には町内4つの簡易水道事業を統合し、仁木町簡易水道事業として経営の効率化に努めています。
なお、正確な財務状況の把握のため、令和6年度より公営企業会計に移行しました。
令和7年度現在、国土交通省の「水道事業におけるアセットマネジメント(資産管理)に関する手引き」における4Dレベルのアセットマネジメントを実施し、資産の健全度および更新需要の見通しを整理しています。

(3) 経営比較分析表等を活用した現状分析

※ 直近の経営比較分析表(「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について」(公営企業三課室長通知))による経営比較分析表を添付すること。

1.経営の健全性・効率性について
R6.4月に公営企業会計へ移行し、過去との比較ができないため類似団体と比較して分析します。

①経常収支比率
類似団体平均を上回っていますが、一般会計からの補助金で収入不足分を補っている現状にあります。適正な使用料収入などで自己財源を増加させる必要があります。

②累積欠損金比率
R6年度は欠損金が発生していません。

③流動比率
類似団体平均より大幅に下回っていますが、公営企業会計移行初年度であるため流動資産の増加を順次見込んでおり、自ずと比率も増加します。

④企業債残高対給水収益比率
類似団体平均より高く、H14年度から開始した事業による起債の残高が大きいです。

⑤料金回収率・⑥給水原価
料金回収率は類似団体平均を下回っており、①で述べたとおり一般会計からの補助金の収益で不足分を補っています。耐用年数を経過する施設や設備の更新を計画的に進めるとともに維持管理経費等の削減に努め、適正な使用料収入を検討して料金回収率向上を目指します。

⑦施設利用率・⑧有収率
効率良く適正規模で利用しており、H14年度から実施している老朽管の更新工事等により、漏水量が減少している状況であるため有収率も類似団体平均より高いです。引き続き配水管からの漏水量を減少させるため、計画的な漏水調査を実施し漏水量の削減に努めます。

2.老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
公営企業会計移行初年度であるため、低い率で算定されており判断材料がありません。

②管路経年化率・③管路更新率
耐用年数を経過する施設や設備等が多数現存しています。更新を計画的に進めることで、維持管理経費等の削減に繋がります。

全体総括
給水原価が類似団体平均より高く、将来的には人口減少による給水収益が減少することが予測されるため、今後の給水需要の動向に注視しながら老朽管の計画的な更新によって、漏水量の減少や適正な維持管理等で財政基盤の強化を図り安定した事業経営に努めています。

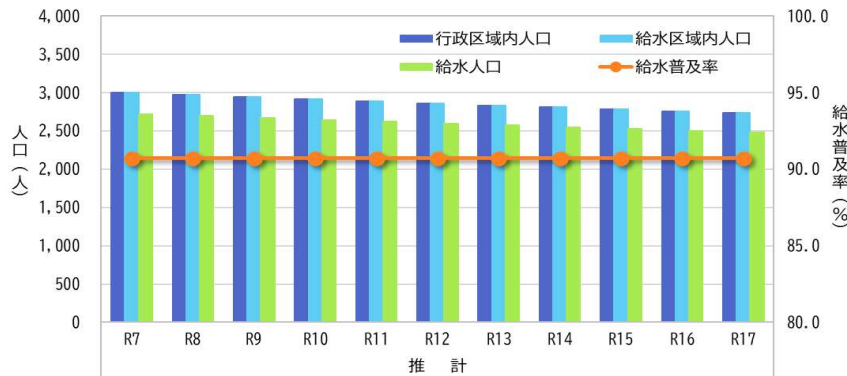
2. 将来の事業環境

(1) 給水人口の予測

これまでの給水人口の実績数値を基に将来推計を行った結果、10年後の給水人口は現在より約9%減の約2,732人との見込みです。なお、給水人口に関する項目については、下記のように将来推計値を設定しています。

項目	将来値の設定方法
行政区域内人口	(人) 人口ビジョン推計値をR6実績で時点補正
給水区域外人口	(人) 現状維持の0人で将来一定
給水区域内人口	(人) 行政区域内人口-給水区域外人口
給水人口	(人) 給水区域内人口×給水普及率
給水普及率	(%) 最新実績の90.7%で将来一定

項目	推 計										
	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
行政区域内人口 (人)	2,999	2,971	2,943	2,915	2,887	2,858	2,833	2,808	2,783	2,758	2,732
給水区域外人口 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給水区域内人口 (人)	2,999	2,971	2,943	2,915	2,887	2,858	2,833	2,808	2,783	2,758	2,732
給水普及率 (%)	90.7	90.7	90.7	90.7	90.7	90.7	90.7	90.7	90.7	90.7	90.7
給水人口 (人)	2,720	2,695	2,669	2,644	2,619	2,592	2,570	2,547	2,524	2,502	2,478

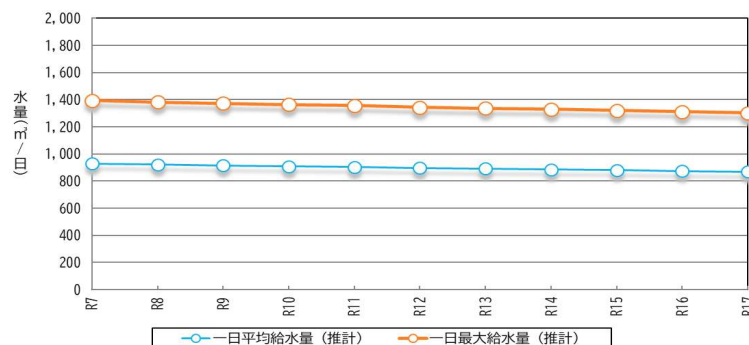


(2) 水需要の予測

年間有収水量(販売水量)は、給水人口が年々減少していることに比例し、令和17年度には669m³/日まで減少し、現在より約7%の減少が予想されます。なお、水量に関する項目については、下記のように将来推計値を設定しています。

項目	将来値の設定方法	
	原単位	(L/人/日)
一般家庭 一般家庭用原単位 (L/人/日)	最新実績の189.6L/日で一定	
有収水量 使用水量 (m ³ /日)	給水人口×生活用原単位÷1000	
営業用 営業用水量 (m ³ /日)	最新実績の丸目数字190m ³ を起点として、10年ごとに10m ³ ずつ減少	
浴場用 浴場用 (m ³ /日)	10年ごとに1m ³ ずつ減少	
有収水量計 (m ³ /日)	用途別水量の合計	
無収水量 (m ³ /日)	現状維持の0m ³ で将来一定	
有効水量計 (m ³ /日)	一日平均給水量×有効率÷100	
無効水量 (m ³ /日)	一日平均給水量-有効水量	
1日平均給水量 (m ³ /日)	有収水量÷有収率×100	
1人1日平均給水量 (L/人/日)	一日平均給水量÷給水人口×1000	
1日最大給水量 (m ³ /日)	一日平均給水量÷負荷率×100	
1人1日最大給水量 (L/人/日)	一日最大給水量÷給水人口×1000	
有収率 (%)	有効率-有効無収率	
有効率 (%)	現状維持の77.0%で将来一定	
有効無収率 (%)	無収水量÷一日平均給水量×100	
負荷率 (%)	実績10年間の最小値(66.7%)で将来一定	

項目	推 計										
	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
一般家庭 一般家庭用原単位 (L/人/日)	189.6	189.6	189.6	189.6	189.6	189.6	189.6	189.6	189.6	189.6	189.6
有収水量 一日平均使用水量 (m ³ /日)	516	511	506	501	497	491	487	483	479	474	470
営業用 一日平均使用水量 (m ³ /日)	190	190	190	190	190	190	190	190	190	190	190
浴場用 一日平均使用水量 (m ³ /日)	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
計 (m ³ /日)	715	710	705	700	696	690	686	682	678	673	669
一日平均給水量 (m ³ /日)	929	922	916	909	904	896	891	886	881	874	869
一日最大給水量 (m ³ /日)	1,393	1,383	1,374	1,363	1,356	1,344	1,336	1,329	1,321	1,311	1,303



(3) 料金収入の見通し

利用者からの料金収入は水道経営の根幹となる財源です。令和6年度の年間給水収益61,113千円に対して、令和17年度の予想年間給水収益は56,326千円であり、約7%(4,787千円)の収益減の見込みであります。

年度	有収水量		年間給水収益		備考
	1人1日あたり (L/人/日)	年間 (m ³)	1m ³ あたり (円/m ³)	水道料金 (千円)	
R6 2024	236.0	262,788	232.6	61,113	決算額
R7 2025	238.4	260,975	231.8	60,495	予算額
R8 2026	239.0	259,150	230.7	59,778	
R9 2027	239.6	257,325	230.7	59,357	
R10 2028	240.1	256,200	230.7	59,098	
R11 2029	241.1	254,040	230.7	58,599	
R12 2030	241.4	251,850	230.7	58,094	
R13 2031	242.1	250,390	230.7	57,757	
R14 2032	242.9	249,612	230.7	57,578	
R15 2033	243.6	247,470	230.7	57,084	
R16 2034	244.0	245,645	230.7	56,663	
R17 2035	244.9	244,185	230.7	56,326	R6年度比約7%減



(4) 組織の見通し

簡易水道事業は建築水道係が担っており、課長を除く事務系職員が2名、工事系職員が1名の計3名が在籍しています。水道事業は24時間365日、突発的な事故への対応が必要なことから、これ以上の人員削減は避ける必要があります。

3. 経営の基本方針

第6期仁木町総合計画では、まちづくり基本目標3では「普段の生活で欠かすことのできない水道や道路などの生活インフラに関しては、これからも計画的な改修等を図るなど、すべての人が心地よく、安心して生活できる環境の整備に努めます」とあり、IV生活環境のうち「上水道の整備」では「安定した水道水の供給」と「安定した水道事業の運営」を示しています。当然ながら、観光産業の振興、企業誘致を実現するうえでも水道事業経営の健全化は必須です。これらを踏まえ、「安心・安全な水道供給を実現するため、経営の自立性を高める」を経営基本方針とし、以下に具体的な取り組みを示します。

(1) 計画的な設備更新の実施

適切な更新需要の設定のため、アセットマネジメントの実施や定期的な計画の見直しを行います。

(2) 効率的な維持管理

管理する施設を見直し、設備更新の効率化や維持管理性の向上を図るため、施設の統廃合を検討しています。

(3) 水道収益の増加

定期的な管路更新による有収率の増加、持続的な水道事業の経営のために適正な水道料金の設定を検討します。

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画) : 別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメントの算定結果に基づき、施設及び老朽管の見直しを効率化し長寿命化を図ります。 ・更新時期を迎えつつある銀山浄水場を廃止し、大江配水池から配水できるような改修工事を実施する予定です。
-----	--

アセットマネジメントの算定結果に基づき機械電気・土木建築設備などの改修費用として毎年62,000千円の金額を目標として事業を実施し、施設の健全度を保つよう努めます。そのほかには施設・設備の廃止・統合(ダウンサイジング)の取り組みとして、更新時期を迎えつつある銀山浄水場を廃止し、大江配水池から配水できるような水道施設の改修工事を実施する予定です。

計画期間に実施する主な投資の内容は以下のとおりです。

事業名	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
統廃合に伴う管路新設工事(千円)						16,038	176,413	176,413	176,413	160,375	
機械電気設備改修工事(千円)			31,000	32,000	33,000	34,000	35,000	36,000	37,000	38,000	39,000
土木建築設備改修工事(千円)			31,000	32,000	33,000	34,000	35,000	36,000	37,000	38,000	39,000
老朽管などの管路工事費(千円)	10,709										
合計(千円)	10,709	0	62,000	64,000	66,000	84,038	246,413	248,413	250,413	236,375	78,000

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	経常収支比率が100%以上となるように、必要に応じて料金改定を実施する予定です。
-----	--

現行の料金で推移した場合、令和13年度から収益的収支において赤字が発生する見通しとなっています。そのため令和13年度以降に料金改定を実施し、収益的収支が黒字になるように運営する予定です。事業費に関しては各種補助金、企業債の借入で100%補っていく予定です。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

委託料や修繕費など一般管理費に要する費用は、一定のサービスの質を落とさないよう限られた予算で最大の効果が得られるよう努めます。また、近年の物価上昇率や賃金上昇率などを加味して、該当する項目については値上げ率として3.0%/年を見込みます。

・委託料

令和8年度予算見込み額を基準として、今後の賃金上昇率を3.0%/年と想定した場合の金額を見込んでいます。

緊急時の連絡業務や警備業務など複数年に渡って契約することで、経費を抑えることができる場合は長期継続契約を今後も締結していきます。

・修繕費

令和8年度予算見込み額を基準として、今後の物価上昇率を3.0%/年と想定した場合の金額を見込んでいます。

・動力費

電力費と薬品費については、令和8年度予算見込み額を基に、配水量1m³あたりの電力単価、薬品単価を基準とし、さらに物価上昇として年間あたり3.0%ずつ単価が上昇するものと想定します。また、水需要予測による総配水量の変動に応じて、電力・薬品単価×年間配水量で算出するものとします。

・職員給与費

令和8年度予算見込み額を基準として、今後の賃金上昇率を3.0%/年と想定した場合の金額を見込んでいます。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※ 投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。
 また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間内の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュール等について記載する必要があること。

① 投資の合理化、費用の見直しについての検討状況等

広 域 化	北海道が主催する広域化勉強会などに参加し、近隣事業者との情報交換に努めます。
民間の資金・ノウハウ等の活用 (PPP/PFI 等 の 導 入 等)	現在はPPPやPFIを活用した事業の実施予定はありません。 今後も設備の保守点検などの個別委託を実施して予定です。
アセットマネジメントの充実 (施設・設備の長寿命化等 による投資の平準化)	重要度を考慮した更新基準を設定することで、耐用年数どおりに更新した場合と比べて投資の平準化を行いました。
施設・設備の廃止・統合 (ダウンサイジング)	銀山浄水場の廃止を予定し、大江配水池から配水することで、更新費用や維持管理の手間を削減する予定です。
施設・設備の合理化 (スペックダウン)	当面は現在の規模での運用を想定しています。
その他の取組	特になし。

② 財源についての検討状況等

料 金	今後も3～5年ごとに経営戦略を見直し、料金改定の必要性について検討していきます。
企 業 債	事業計画の進捗状況などを考慮しながら企業債の借入額を決定していきます。
繰 入 金	企業債償還金および工事請負費に見合う繰入金を想定しています。
資産の有効活用等(*2)による 収入増加の取組	該当なし。
その他の取組	該当なし。

5. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、 改定等に関する事項	<p>①経営戦略の事後検証 町民の生活基盤である水道事業の健全化のため、社会情勢に順応しながら計画との整合を定期的に行ってまいります。 加えて、国土交通省からも、少なくとも5年に1回の頻度での経営戦略の見直しを求められていることから、事業進捗と最新の経営状況に応じて適宜見直しを図っていく予定です。</p> <p>②経営戦略の公表 経営戦略を見直した際には今回と同じく、皆様に公開いたします。</p>
-------------------------	---

経営比較分析表（令和6年度決算）

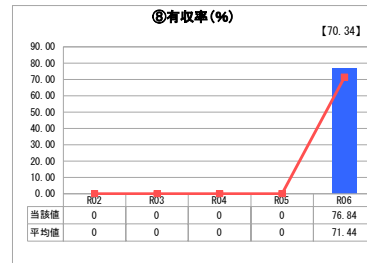
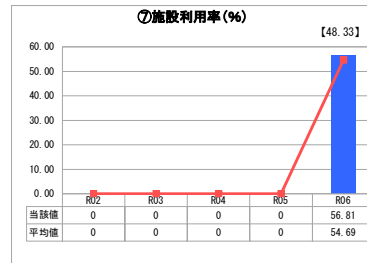
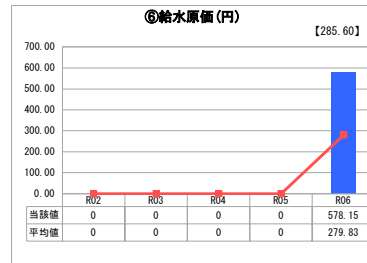
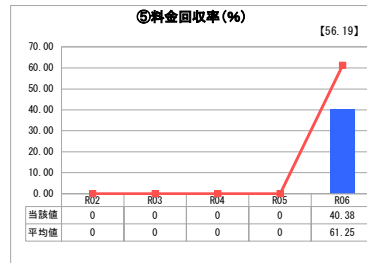
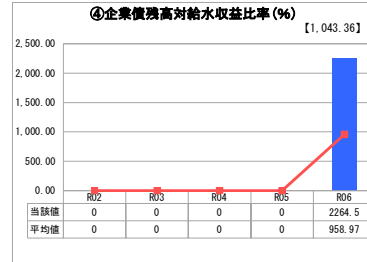
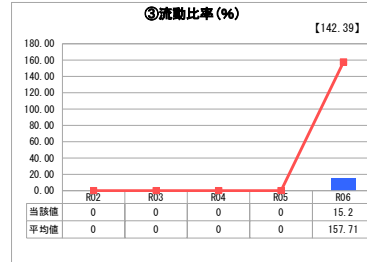
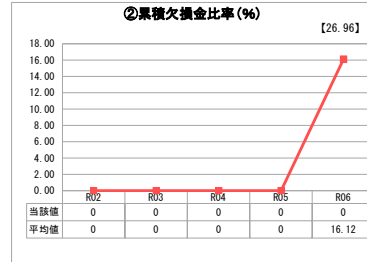
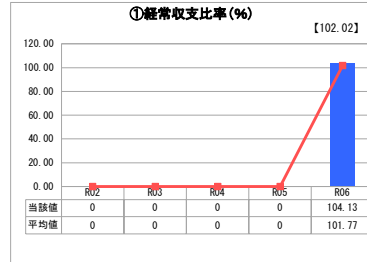
北海道 仁木町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	55.28	90.66	4,360	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,051	167.96	18.17
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,758	32.03	86.11

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

R6.4月に公営企業会計へ移行し、過去の比較ができないため類似団体と比較して分析する。

① 経常収支比率
類似団体平均を上回っているが、一般会計からの補助金で収入不足分を補っている現状にある。適正な使用料収入などで自己財源を増加させる必要がある。

② 累積欠損金比率
R6年度は欠損金が発生していない。

③ 流動比率
類似団体平均より大幅に下回っているが、公営企業会計移行初年度であるため流動資産の増加を順次見込んでおり、自ずと比率も増加する。

④ 企業債残高対給水収益比率
類似団体平均より高く、H14年度から開始した事業による起債の残高が大きいため。

⑤ 料金回収率・⑥ 給水原価
料金回収率は類似団体平均を下回っており、①で述べたとおり一般会計からの補助金の収益で不足分を補っている。耐用年数を経過する施設や設備の更新を計画的に進めるとともに維持管理経費等の削減に努め、適正な使用料収入を検討して料金回収率向上を目指す。

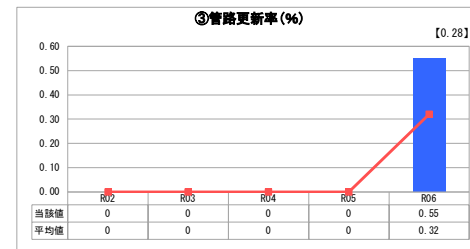
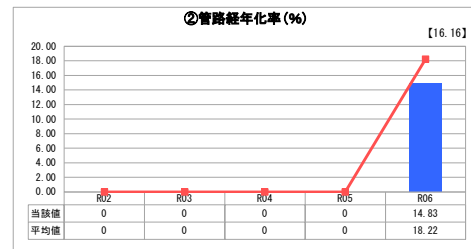
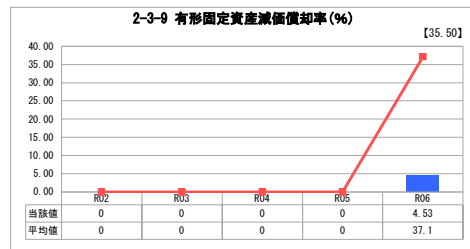
⑦ 施設利用率・⑧ 有収率
効率良く適正規模で利用しており、H14年度から実施している老朽管の更新工事等により、漏水量が減少している状況であるため有収率も類似団体平均より高い。引き続き配水管からの漏水を減少させるため、計画的な漏水調査を実施し漏水量の削減に努める。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
公営企業会計移行初年度であるため、低い率で算定されており判断材料がない。

② 管路経年化率・③ 管路更新率
耐用年数を経過する施設や設備等が多数現存している。更新を計画的に進めることで、維持管理経費等の削減に繋げる。

2. 老朽化の状況



全体総括

給水原価が類似団体平均より高く、将来的には人口減少による給水収益が減少することが予測されるため、今後の給水需要の動向に注視しながら老朽管の計画的な更新によって、漏水量の減少や適正な維持管理等で財政基盤の強化を図り安定した事業経営に努めていく。

投資・財政計画

(単位:千円)

区 分		6年度 (決算)	7年度 (予算)	8年度 (予算)	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	
資本的収入	1. 企業債償還金	0	0	0	37,576	38,788	40,000	49,474	133,308	134,520	135,732	128,682	47,272	
	うち資本費平準化債													
	2. 他会計出資金													
	3. 他会計補助金	81,194	62,726	79,533	56,894	55,626	52,402	49,195	46,042	41,650	35,206	31,722	29,229	
	4. 他会計負担金													
	5. 他会計借入金													
	6. 国(都道府県)補助金	0	0	0	18,788	19,394	20,000	24,738	66,654	67,260	67,866	64,340	23,638	
	7. 固定資産売却代金													
	8. 工事負担金	4,283	4,958	20,235										
	9. その他	0	0	22,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計 (A)	85,477	67,684	121,768	113,258	113,808	112,402	123,407	246,004	243,430	238,804	224,744	100,139	
	(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)													
	純計 (A)-(B) (C)	85,477	67,684	121,768	113,258	113,808	112,402	123,407	246,004	243,430	238,804	224,744	100,139	
	資本的支出	1. 建設改良費	14,927	10,709	72,415	69,000	71,210	73,426	89,282	227,836	230,072	232,315	220,933	86,866
うち職員給与費		0	0	0	7,000	7,210	7,426	7,649	7,878	8,114	8,357	8,608	8,866	
2. 企業債償還金		127,982	115,900	106,607	103,676	102,400	97,617	92,926	88,504	82,984	73,828	70,161	68,276	
3. 他会計長期借入返還金														
4. 他会計への支出金														
5. その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計 (D)	142,909	126,609	179,022	172,676	173,610	171,043	182,208	316,340	313,056	306,143	291,094	155,142		
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)	57,432	58,925	57,254	59,418	59,802	58,641	58,801	70,336	69,626	67,339	66,350	55,003		
補填財源	1. 損益勘定留保資金	55,241	58,925	57,254	50,919	28,346	24,636	9,243	5,867	43,111	31,832	41,280	38,500	
	2. 利益剰余金処分量	2,191	0	0	2,226	24,982	27,330	41,441	43,757	5,599	14,387	4,985	8,606	
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4. その他	0	0	0	6,273	6,474	6,675	8,117	20,712	20,916	21,120	20,085	7,897	
計 (F)	57,432	58,925	57,254	59,418	59,802	58,641	58,801	70,336	69,626	67,339	66,350	55,003		
補填財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
他会計借入金残高 (G)														
企業債残高 (H)	1,387,902	1,272,952	1,173,318	1,107,218	1,043,606	985,989	942,537	987,341	1,038,877	1,100,781	1,159,302	1,138,298		

○他会計繰入金

(単位:千円)

区 分		6年度 (決算)	7年度 (予算)	8年度 (予算)	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
収益的収支分		100,000	125,227	88,128	95,350	93,206	107,684	111,466	82,048	83,092	80,387	71,165	72,496
	うち基準内繰入金	7,752	7,349	7,428	6,643	6,595	6,544	6,486	6,553	7,848	9,131	10,422	11,631
	うち基準外繰入金	92,248	117,878	80,700	88,707	86,611	101,140	104,980	75,495	75,244	71,256	60,743	60,865
資本的収支分		81,194	62,726	79,533	56,894	55,626	52,402	49,195	46,042	41,650	35,206	31,722	29,229
	うち基準内繰入金	65,091	59,053	54,429	52,966	52,331	49,942	47,600	45,392	41,650	35,206	31,722	29,229
	うち基準外繰入金	16,103	3,673	25,104	3,928	3,295	2,460	1,595	650	0	0	0	0
合計	181,194	187,953	167,661	152,244	148,832	160,086	160,661	128,090	124,742	115,593	102,887	101,725	